

稚内市における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

稚内市地域公共交通総合連携計画の目標

稚内市は、宗谷総合振興局の所在地であり、宗谷管内唯一の総合病院を有している。生活交通はバスが主体であるが利用者は減少しており、また、鉄道、フェリー、航空機、バスの多様な交通機関を有しているものの、各交通拠点間や観光地とのアクセス交通は不十分な状況にある。住民ニーズに対応したバス路線の再編、観光地・各交通拠点間のアクセス交通の改善、情報提供の充実化等により利便性を高めると共に、公共交通システムの再構築を行い、地域交通の活性化を図る。

稚内市地域公共交通活性化協議会開催状況

第1回協議会 6月6日開催

- ・H22年度地域公共交通活性化・再生総合事業について(決算・監査報告)
- ・乗合タクシー実証運行実績報告書
- ・稚内空港・宗谷岬線ハイブリッドバス実証運行の状況報告
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る生活交通ネットワーク計画について

第2回協議会 11月8日開催

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画について
- ・H23年度 実証運行実績報告
- ・乗合タクシー本格運行に係る経過報告

23年度総合事業計画の概要

1) 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー実証運行

[天北線代替輸送路線バスの路線変更・交通空白地域への乗合タクシー]

運行期間:平成23年4月1日～平成23年9月30日

運行ルート:対象地区～市街主要停留所

運行本数:1日10便(うち3便はバス運休に伴う無料代替便)

運賃:100円～700円(距離等に応じて変動)

運行受託者:宗谷バス(株)



乗合タクシー

2) 更喜苫内地区乗合タクシー実証運行[郊外路線バスの路線再編]

運行期間:平成23年4月1日～平成23年9月30日

運行ルート:対象地区～潮見5丁目

運行本数:1日4便

運賃:100円～500円(距離等に応じて変動)

運行受託者:宗谷バス(株)



乗合タクシー

3) 観光及び空港アクセス交通改善(実証運行)

運行期間:平成23年6月1日～H23年9月30日

運行ルート:経路1 フェリーターミナル 宗谷岬 稚内空港

経路2 稚内空港 宗谷岬 フェリーターミナル

運行本数:1日各1便

運賃:2,000円(小学生及び身障者は半額)

運行受託者:宗谷バス(株)



実証運行車両

4) わかりやすい情報提供

概要:携帯電話やパソコンからバス時刻の検索が可能なシステムの開発や市内のバスマップを作成。

期間:平成24年3月完了予定

開発受託者:稚内北星学園大学



作成中バスマップ イメージ

5) 「新規需要の掘り起こし」と「公共交通への意識啓発・利用促進活動」

概要:公共交通の重要性を周知し利用促進や地域の活性化を図ることが出来る方法を検討していく。

時期:平成24年3月完了予定

天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

1) プロセス、創意工夫

天北線バス路線は年々利用者が減少し補助金も増加傾向にあり、同時に当該地区はバス路線沿い以外の公共交通空白地域も広範囲に及んでいた。更に、東浦地区から市街地へ向かう公共交通が無い。



天北線バス路線を集客力のある宗谷岬を経由する路線へ振り替えると共に、公共交通の空白地帯の解消を目標とし、路線振替後の天北地区、恵北・増幌地区での「乗合タクシー」の本格実施に向けた実証運行を実施。

【H21実施内容】

10月から12月までの3ヵ月間(平日のみ)、市街地の入口である潮見5丁目までの運行と、路線バスとの接続便を運行。

【H22実施内容】

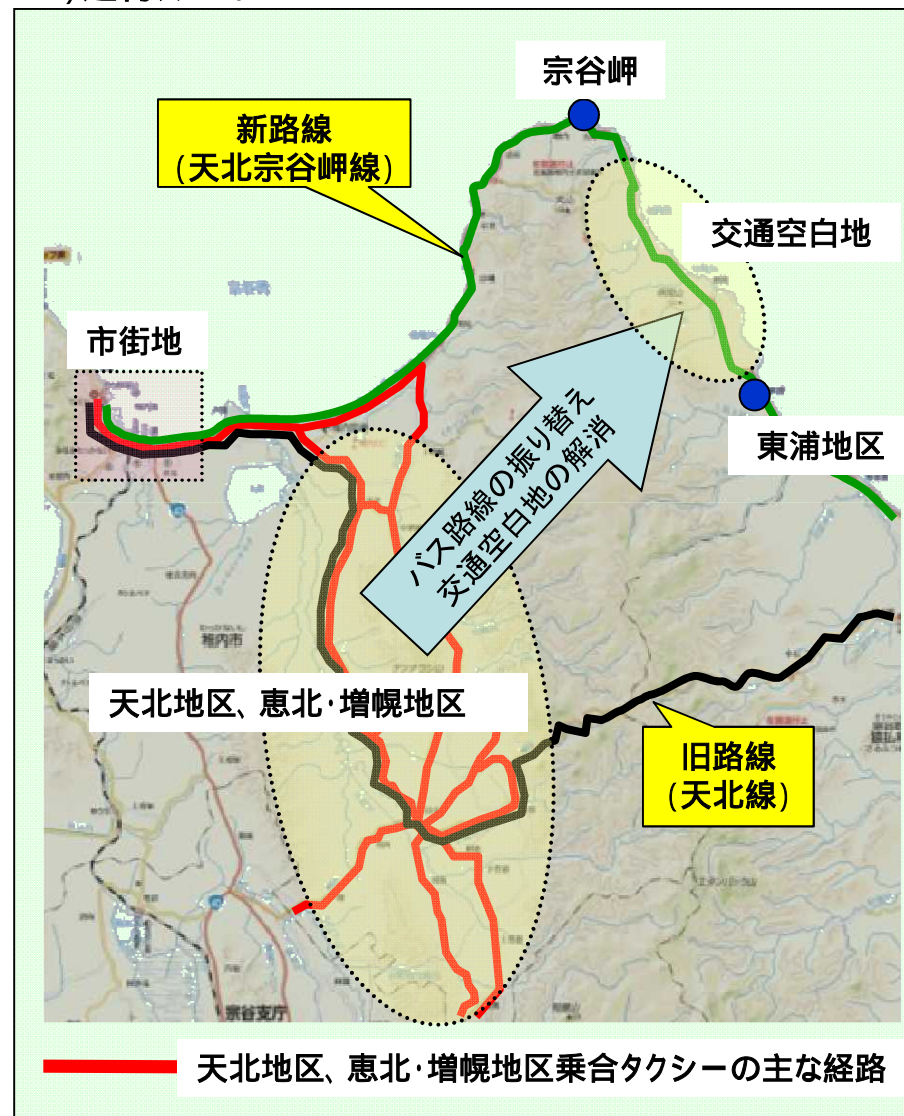
前年の反省を踏まえ、利用者から要望があった市街中心部までの乗り入れを実現すると共に、土日祝日も運行。



【H23実施内容】

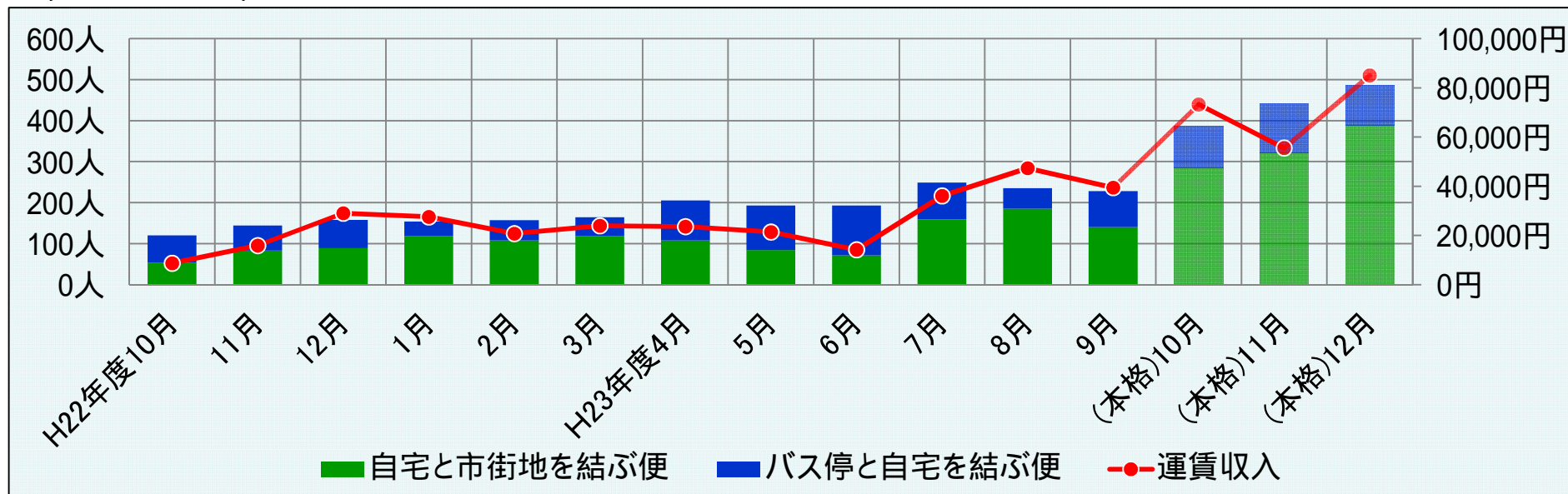
H22の内容を踏襲し、10月からの本格実施に向けた最終調整を行い、存続するバス路線や地域住民のニーズに合わせたダイヤ及び停留所を検討。

2) 運行ルート



天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

3) 利用実績・4) 収入実績



5) 事業実施効果

平成23年10月から、天北線は宗谷岬経由の「天北宗谷岬線」へと路線変更され、宗谷方面は沿道人口が多く、加えて観光客などの利用が見込まれている。併せて、宗谷岬から東浦地区までの交通空白地域も解消された。

乗合タクシーの本格実施に際し、実証運行の成果を生かし、通院やJRとの接続に対応したダイヤへの改正、予約受付時間の見直し、更に市街停留所の追加を行うことが出来た。

3ヶ年の期間をかけ実証運行を行ったことから、路線の振替時にも大きな混乱はなく、現在も乗合タクシーの利用者は増加傾向にある。

6) 今後の課題

本格実施に移行し、当該地区のバス路線も減便となったため、バス利用者が乗合タクシーへと移行し、利用者数は実証運行時から倍増している。このため、実証運行時に経験が無い稼働率の高さで、本格実施されることになった。

今後においても、バス路線及び乗合タクシー各便の利用状況を把握し、互いのバランスを考慮しながら、当該地域の公共交通のあり方について検討を続ける必要がある。

天北線が宗谷岬経由の「天北宗谷岬線」となったことにより、観光客にも積極的にアピールする必要があり、より周知を図っていくことが重要である。

更喜苦内地区乗合タクシー

1) プロセス、創意工夫

更喜苦内バス路線は利用が少なく、児童・生徒の通学利用が主で、小学生の帰宅時にバスは運行されず、スクールバスを運行してきた。



「路線バス」と「スクールバス」の両方の役割を兼ね備えた代替公共交通としての「乗合タクシー」の実証運行を実施。

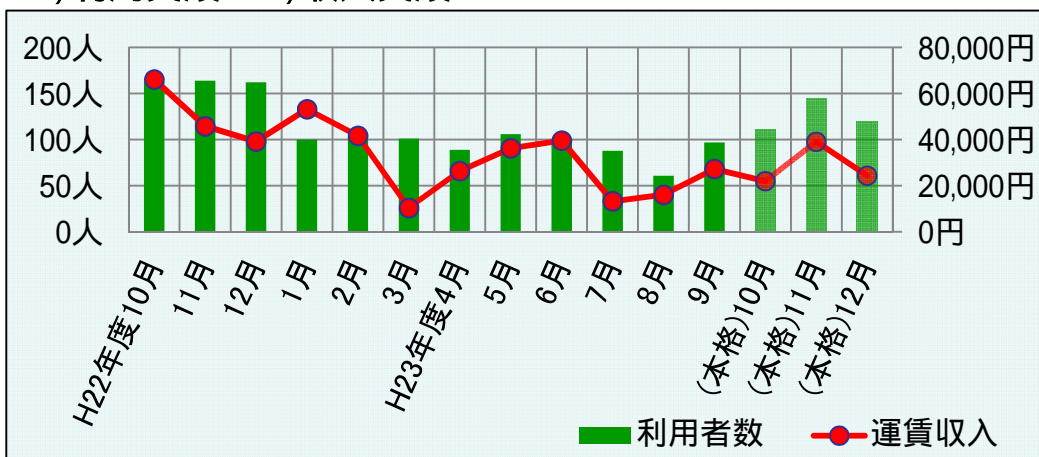
【H22実施内容】

小学生の帰宅便の追加、小学校付近の児童センターに乗降場所を設定すると共に、家庭や学校、運行委託業者が連携し、予定表の提出などで予約手続きを簡略化。

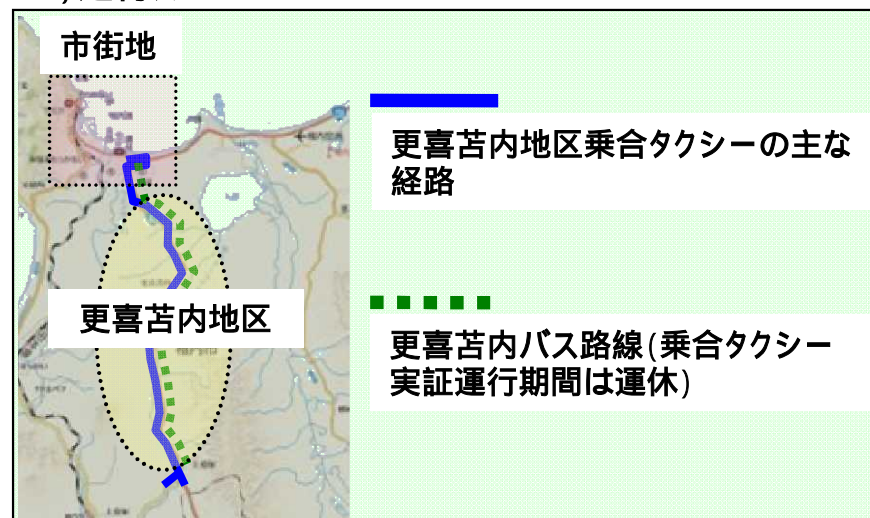
【H23実施内容】

前年度の内容を継続して、4月から9月まで実証運行を行い10月からの本格実施に向け最終調整を行った。

3) 利用実績・4) 収入実績



2) 運行ルート



5) 事業実施効果

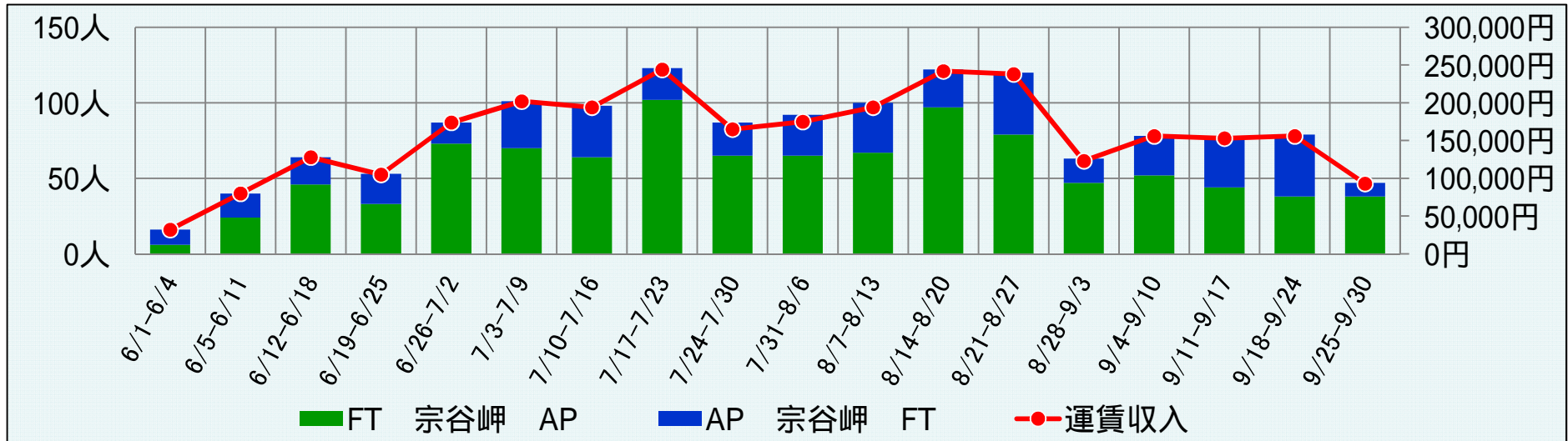
実証運行の段階から、路線バスから乗合タクシーへのスムーズな移行が行われ、本格実施後も問題なく運行されている。

6) 今後の課題

市内バス路線との効果的な乗継なども周知し、特に高齢者などの通院や買い物に役立てられるよう、利用促進を図る必要がある。

観光及び空港アクセス交通改善(実証運行)

3) 利用実績・4) 収入実績



5) 事業実施効果

今年度の観光客の減少は、震災が大きく影響していたものと考えられるが、本実証運行においては昨年度を上回る利用実績を残すことができた。

もともと宗谷岬に立ち寄る予定がなかった観光客も多く、この実証運行で岬への訪問が可能となり、更に北海道遺産である宗谷丘陵も経由することから、多くの観光客に稚内の魅力を伝えることができた。

利用者に対してアンケート調査を実施し、観光客の動向や経路ごとの利用形態を把握すると共に、乗務員の説明は利用者の多くから好印象の感想を頂いている。

6) 今後の課題

実証運行を終えた今後は、採算性を考慮した運行に向けて、経路や運行期間などを検討していく必要がある。周知方法(特に道外)を、工夫・改善していくことで、利用者は更に増加するものと考えられる。

自己評価のポイント

- ・天北線海廻りに併せ、代替交通手段として乗合タクシーの実証運行を経て本格運行を実施し、交通空白地域の解消を実現することが出来た。
- ・観光地・空港アクセス交通改善について、実証運行を行うことで観光客のニーズや動向を把握することができ、観光振興の参考となったものの、本格運行移行に当たっては、適切な運行期間や経路の検証が必要である。
- ・乗合タクシーに係る経費について、地域公共交通確保維持改善事業を活用した国費や市からの補助金によることで協議が整った。
- ・地域懇談会や説明会等、地域住民の声を組み入れる努力を続けた結果、実施事業について地域の実質的な合意形成が図れた。

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり。
- ・自立性・持続性を考慮した取り組みが行われ、実証運行を続けてきた乗合タクシーについては本格稼働に移行し、交通空白地帯の解消とともに地域に適した交通体系が構築された。
- ・観光地・空港アクセス交通改善については、観光客の入りに影響される部分が多くあるため、運行時期、運行系統の見直しやHP等での早い段階での周知等更なる検討を要する。